令和４年度　学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和４年４月７日(木)　№1

「笑顔いっぱいの学校」

校長　　桂川　辰也

例年より桜の開花が遅れ気味ですが、本日新１年生 15 名を迎え全校児童８０名で令和４年度がスタートすることができました。どんな１年になるのか、桜のつぼみ同様に私の胸は期待でいっぱいに膨らんでいます。

私、本年度より東白川小学校長としてお世話になることになりました。学校の教育目標である「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」にむけて、職員と力を合わせ、全力で取り組みたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様には、温かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「ありがとう」「ごめんなさい」「どうしたの？」「助けて！」

「勉強が分かるようになりたい」「友だちと仲よくしたい」、みなさんがそんな願いを持っているなら、上記の４つを上手に使いこなせば、その願いは叶うよと、始業式。入学式で子どもたちに教えました。

「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「失礼します」･･･

少しでもその効果を上げたいなら、毎日の挨拶を誰に対してもできるだけ笑顔で出来ると良いよと、つけ足しました。

褒められても叱られても「ありがとう」が言える子どもたちを育てたいと思っています。
大人である私たちが率先してその姿を見せていきます。

私事で恐縮ですが、私の実家は越原です。東白川小学校の卒業生ではありませんが（当時は村内に越原、神土、五加の３つの保育園、小学校がありました）、東白川村出身です。高校生から親元を離れましたので、中学卒業以来、４０年ぶりにこの東白川村に帰ってきました。やんちゃな子ども時代を知っている方も多数いらっしゃいますので、恥ずかしい思いもありますが、私の原点であるこの東白川村に帰ってくることができたことを、心から嬉しく思っています。東白川村に恩返しできるように精一杯がんばります。
よろしくお願いします。